

トルコの若手日本文学翻訳家 7 名を招へい

～日本で多様な文学作品に出会う機会を創出～

国際交流基金（JF）では、日・トルコ外交関係樹立 100 周年記念事業の一つとして、2024 年 11 月、日本語からトルコ語への文芸翻訳を志す若手から中堅の翻訳家 7 名を招へいします。

日本の本は、世界のさまざまな地域で外国語に翻訳出版され、各地の読者に届けられています。トルコでは、1960 年代後半から、主に英語訳や仏語訳、独語訳等からの重訳により日本文学の翻訳が盛んになり、2000 年代以降には、日本語原典からの翻訳が増え始めたと言われています。

この状況を踏まえ、引き続きより広く、様々な日本の本が良質な翻訳によってトルコ語読者に届くよう、本事業を企画しました。特に、次世代を担う日本文学のトルコ語翻訳者が将来にわたって活躍を続けることを期待します。

今回の招へいを通じ、参加者が日本文学や翻訳、日本の本や図書事情についての専門的な知識を得て、今後翻訳者として活動し、更に成長していくにあたり有益な専門家同士のネットワークを構築するきっかけを提供します。日本滞在中は 7 名が 1 グループとなって、日本文学や翻訳に関する専門家のレクチャーを受けます。日本の作家他と交流を持ち、文学館等を視察するほか、花巻・遠野への 1 泊「文学エクスカージョン」も計画しています。

今後、現代文学をはじめとするより多様な日本の図書の翻訳がトルコでますます増え、充実していくことを目指します。

記

事業名称：トルコ日本文学翻訳者招へい事業

主催：国際交流基金（JF）

招へい期間：2024 年 11 月 4 日（月）～16 日（水）

参加者一覧：

ヌライ・アクデミル（Nuray AKDEMİR） アンカラ社会科学大学准教授

ニルギュン・アイドードゥ（Nilgün AYDOĞDU） チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学修士課程/翻訳者・日本語教師

ハティジェ・ハン（Hatice HAN） 三五株式会社・トルコ支社勤務（日本語通訳・翻訳）

ネシベ・カヤ（Nesibe KAYA） ブルドゥル・メフメト・アーキフ・エルソイ大学研究員

エブル・オクヤル（Zeynep Ebru OKYAR） AI データ&ランゲージ・サービス勤務/フリーランス翻訳者・編集者

イレム・オズデル（İrem ÖZDEL） 大阪大学大学院人文学研究科 研究生

フィリズ・ユルマズ（Filiz YILMAZ） アンカラ大学准教授

主なプログラム内容：

■レクチャー

1. 講師：由尾瞳（早稲田大学教授）、協力：柴田元幸（翻訳家・東京大学名誉教授）
「日本文学の海外での翻訳と受容」

2. 講師：宮下遼（大阪大学准教授）
「文化の距離、言葉の距離：役割語から見る登場人物の日本化」

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

取材のお願い

■ディスカッション

1. モデレーター：宮下遼

「翻訳と文学と私と」

2. モデレーター：金原瑞人（法政大学教授・翻訳家）・倉本さおり（書評家・法政大学 兼任講師）

「訳したい本・訳してほしい本」

■作家交流（五十音順）

1. 柏葉幸子 「『遠野物語』をめぐる」

2. 川上弘美 「翻訳ワークショップ：『真鶴』『このあたりの人たち』」

3. 李琴峰 「『星月夜』から見た複言語の世界」

■文学エクスカージョン

岩手県（花巻・遠野）：宮澤賢治記念館・とおの物語の館・こども本の森遠野 など

■視察

早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）・日本近代文学館 など

■関係者とのネットワーキング懇親会

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、小堤）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp